

**授業概要**

教育の歴史は長い。しかしながら、教育について自覚的に考察されてきた歴史は 2,500 年程度のものである。また、教育はかなり広範な概念であり、教育イコール学校というほど狭いものでもない。しかし、現代の教育は学校という巨大な装置に支配されていることは否定のしようがない。現にこの授業も埼玉学園大学という「学校」で行われるのであるし、近代以降の教育の歴史は学校が教育の専売特許を得ていくプロセスということも可能である（もちろんそれに対する異議申し立ても存在するのだが）。

そこで、教育というものがどのように考えられ、それが歴史的にどのような変遷をたどったのかを講義する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション：授業の方法や進め方
第 2 回	「教育」とは何か（1）：ディスカッション（「教育」をめぐるイメージについて）
第 3 回	「教育」とは何か（2）：教育・学習・人間形成
第 4 回	教育思想の歴史（1）：古代ギリシア・中世の教育思想
第 5 回	教育思想の歴史（2）：17～19 世紀の教育思想
第 6 回	教育思想の歴史（3）：18・19 世紀の教育思想・教育学説
第 7 回	教育思想の歴史（4）：19・20 世紀の教育思想・教育学説
第 8 回	日本の教育の歴史（1）：近代学校制度の成立
第 9 回	日本の教育の歴史（2）：近代学校制度の展開
第 10 回	日本の教育の歴史（3）：戦時体制下の教育
第 11 回	日本の教育の歴史（4）：戦後教育のあゆみ（1）（1950 年代まで）
第 12 回	日本の教育の歴史（5）：戦後教育のあゆみ（2）（1960 年代以降）
第 13 回	現代教育の諸問題（1）：幼保一元化
第 14 回	現代教育の諸問題（2）：学校間接続
第 15 回	現代教育の諸問題（3）：生涯学習
第 16 回	定期試験

**到達目標**

本科目は「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」を講じる科目として設定されている。これらの諸点を理解するとともに、それが現在の教育とどのように関連しているかを考えられるようになってほしい。

**履修上の注意**

教職に就く上でこの程度は知っておいてほしい知識というものがある。この科目では、いわば頭の中にそのような知識をプロットする作業を行うことにする。よって、この授業はある程度の「覚える努力」が必要だが、がんばって乗り切っていただきたい。

**予習・復習**

予習：シラバスに掲げる項目（詳細なものを初回授業時に示す）について、参考文献やインターネットなどで確認しておく。

復習：講義内容を定着させるとともに、各授業時に示す参考文献にもあたってほしい。

**評価方法**

授業内で実施する小テスト（25%×2）・定期試験（50%）

**テキスト**

テキストは指定しない。適宜資料を配布する。